



Opinion

ものづくりの魅力を次世代へ

奈良県機械工業協同組合

理事長 吉村之宏

奈良県機械工業協同組合は、昭和 33 年に県内機械金属業界の有志 10 数名により団結と発展を期して結成された任意の奈良県機械金属工業会を発展的解散し、県の指導もあり、昭和 35 年 5 月に「中小企業等協同組合法」に基づく法的な組合として発足しました。

創立した昭和 30 年代は、日本は戦後の混乱から立ち上がり高度経済成長期を迎えた時代で、企業にとっては大量生産、大量消費に即した技術革新や輸出振興が求められておりました。我々の機械金属業界にとっては、この状況に対応し、自社の生産設備の近代化、拡充が必須でしたが、資金力の乏しい中小零細企業にとっては手立てがなく、組合から組合員への転貸融資などの相互扶助で、多くの企業が成長・発展してまいりました。しかし、経済のグローバル化による諸外国との競争激化、二度のオイルショック、バブル崩壊、続くリーマンショックなどの厳しい経営環境にも晒され、残念ながら廃業を余儀なくされた組合員企業があったのも現実です。

現在の業界においても、原材料やエネルギー・諸物価の高騰、少子化による人手不足、AI やデジタル化への対応、需要の変化、技術革新等、課題の多い厳しい環境にあります。しかし、いかなる時代においても、企業経営の目的は、何と云っても利益を上げ、企業を存続させることだと思います。そのためには、常に激変する環境の変化を捉え、新分野を見出すことへの努力が必要だと思います。技術革新が急速に進む現在、新たな技術を積極的に取り入れ、ユーザーを満足させる製品を提供しなければならないことは言うまでもありません。そのためには、何時の時代においても、「ものづくりの基本」にあるのは、「人を育てること」であることは変わらないのではないのでしょうか。

私も長年ものづくりの世界に身を置いてまいりましたが、時代を作るのはいつの時代も若い世代です。ものづくりの魅力や喜びを次世代へ伝え、地域に根差した担い手を育てていくのは、私たちの大きな使命の一つです。組合も設立 66 年という歴史を経てきました。過去を振り返ってみますと、決して平坦な道ばかりではなく、幾多の難関や苦難もあったことでしょう。この間、一貫して組合員各位の団結、理解、協力のもとに歴代理事長をはじめ、役員のためめ熱意と努力によって、また、県をはじめ関係機関のご支援、ご指導によって存続できていることに感謝するところです。

微力ですが、今後は地域経済の活性化のために努力を重ねてまいり所存です。皆様には、引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。